議事録

R7.8.28　記　渕

令和７年度第３回一般社団法人神奈川県剣道連盟　理事会

日時：令和７年８月21日（木）　18時00分　～　20時45分
場所：かながわ県民センター　２階　ホール

出席　　本部理事：21名　支部理事：36名　監事：１名
（欠席　本部：３名　支部：２名　監事：１名）
過半数以上の出席により定足数を満たし成立した
（以下敬称略）

資料　　レジュメ
資料１　剣道人口問題について
資料２　関東七県対抗剣道大会の結果報告について
資料３　令和７年度　少年剣道教育奨励賞について
資料４　年度会費、審査、大会、講習会等の振込口座について
別紙　　頸動脈損傷よる脳梗塞その他の事故防止
全剣連発布リーフレット２種（ハラスメント・剣道やろうよ）

議長　　野見山　逕　（議事進行：伊藤　龍紀）

議事録署名人　　代表理事　野見山　逕

監事　滝澤　建治

監事　吉野　和世　欠席

議事録作成者　渕　愛美

1.　―開　会―　　18：00

2.　会　長　挨　拶

3.　議　題

５．そ の 他　＊議題順番変更
（１）頸動脈損傷による脳梗塞その他の事故防止　別紙参照　（坂田）
別紙記載通り
質疑なし

【協議事項】

（１）全剣連頒布物の一括購入について（野見山）

個々の購入時、送料が 800 円程度かかるため、県剣連での一括購入を検討。
支部での全剣連応援プログラムへの加入（支部長名で個人加入も可能）と購入も推奨
次回理事会で要望をお聞きし再検討。

（２）剣道人口問題について　資料１・リーフレット参照（野見山）

全剣連でも「剣道人口の減少」を大きな課題と捉え、「剣道未来プロジェクト」として検討中。
神奈川県、中学校で剣道を始める生徒が中体連剣道部門全体の約 7 割を占める一方、多くが高校進学時に辞めてしまうことが１つの大きな問題である。
その対策として、

・高校生と中学生の合同稽古や交流イベントを通じて継続意欲を高める。
・部活動が廃止・地域移行される流れの中で「学校名を残しつつ地域主体で運営する仕組み」を模索する。
・外部指導者の確保や活動費・保険・施設利用など現実的課題を解決していく。
・中学・高校で剣道を続ける環境を整え、剣道人口の減少を防ぎたい。
・各支部で剣道部の現状を把握しお教えいただきたい。
・剣道研究会で人口問題と部活動の地域移行問題を議題にする。

(飛知和)委員会の試案として、8 月に各支部へアンケートを実施し、9～10 月に現状を整理、11 月の研究会で課題と今後の方向性を発表する予定である。スポーツ庁は「部活動の地域移行」を「地域展開」と呼び、学校から地域主体への移行を進めている。剣道界としてもこの流れに対応すべく、委員会で取り組みを早急に進めていく。

意見

①横浜市では部活動指導員制度が導入されたが、当初の年間 300～400 時間から大幅に削減され、現在は 150 時間程度に縮小、来年度は制度自体がなくなる可能性もある。現場の先生方は本来部活動を指導したいと考えているものの、「働き方改革」によって制約が強まり、実態と乖離した方針に不満もでている。
一方で剣道部員数は減少傾向にあり、剣道部自体もなくなっている状況である。そのため、小中合同稽古会や地域稽古会を実施している。
現場の実感としては「先生方は剣道を教えたいが、制度や制約で思うようにできない」という声が強く、これもご理解いただきたい。

②ここ数年で港南区の中学校の剣道部が急速に減少し、来年度には１校しか残らない見込みである。その結果、小学生から剣道を続けたくても中学校に部がなく、他の部活動に入ってしまい、土日の行事で道場の稽古や試合に参加できず剣道から離れてしまうケースが増えている。現場でも対応策が見つからず困難な状況であり、県として具体的な支援策や提案を期待している。

【報告・確認事項】

（１）パワハラ問題について　リーフレット参照（野見山）

スポーツ全体でもパワハラ・セクハラが多く、剣道も例外ではない。全剣連にも多数のハラスメントの苦情が寄せられると聞いている。

本来、剣道は礼儀や精神性を重んじ、ハラスメントが起こるはずのない武道のはずだが、現実には発生しており、発生防止に取り組む必要がある。

（２）関東七県対抗剣道大会の結果報告について　資料２参照（小山）

資料２記載通り

（３）TICADGAMES 2025 国際剣道大会について（野見山）

「TICAD（アフリカ開発会議）」は今年で９回目を迎え、最近４回は横浜で開催、今回は初めて剣道が関連行事に採用された。チュニジアは剣道普及に強い意欲を持ち、剣道をアフリカ全体に広めたいという熱意が感じられた。

（４）モルディブへの剣道具寄贈について（野見山）

前理事会で承認いただいた予算で、多くの剣道着・竹刀や木刀を送ることができた。

質問があり、返答。

（５）令和７年度 剣道有功賞顕彰の推薦について（野見山）

小林 光雄（杖道部理事）

田口 哲朗（小田原剣道連盟会長）　２名を推薦。

（６）令和７年度 少年剣道教育奨励賞の候補について　資料３参照（野見山）

候補数：２１団体　（昨年は２１団体）

【大会・講習会等予定】レジュメ記載通り

（１）第７９回国スポ関東ブロック大会剣道競技について

（２）剣道（剣道形）講習会について

（３）第５５回全国中学校剣道大会について

（４）第６９回神奈川県青少年剣道選手権大会について

（５）寛仁親王杯 第２４回剣道八段選抜大会について

（６）第７１回全日本東西対抗剣道大会について

（７）第７３回全日本剣道選手権大会 神奈川県予選会について

（８）剣道称号県審査会・剣道称号受審者講習会（座学）について

（９）第１回心肺蘇生法講習会について

（10）　パナソニック杯第２０回全日本都道府県対抗少年剣道優勝大会について

（11）　東京都剣道連盟主催 剣道八段受審者講習会について

（12）　第４３回剣道八段受審者研修会について

（13）　剣道六・七段受審者講習会について

（14）　第７９回国民スポーツ大会 剣道競技について

（15）　第５０回 神奈川県母子剣道大会・神奈川県東西対抗剣道大会について

（16）　剣道研究会について

（17）　かながわシニアスポーツフェスタ 2025 剣道大会について

（18）　第７３回全国青年大会について

（19）　剣道 六・七・八段審査会（愛知県・東京都）について

【大会結果】レジュメ記載通り
（１）第７２回全国高等学校総合体育大会剣道競技神奈川県予選
（２）第５６回全国高校定時制通信制剣道大会神奈川県予選会開催日：令和７年６月１５日（日）
（３）第７２回全国高等学校総合体育大会剣道競技神奈川県予選（女子団体戦）
（４）第７９回国民スポーツ大会剣道競技予選会（少年男女）
（５）神奈川県中学校選抜剣道大会
（６）神奈川県中学校選抜剣道大会
（７）第１７回全日本都道府県対抗女子剣道優勝大会
（８）第６４回関東七県対抗剣道大会
（９）令和７年度全日本少年少女武道（剣道）錬成大会
（10）第５９回全国道場少年剣道大会
（11）第６７回全国教職員剣道大会
（12）第５９回神奈川県中学校総合体育大会・第６４回神奈川県中学校剣道大会兼第５０回関東中学校剣道大会予選会
（13）第６４回全日本女子剣道選手権大会県予選会
（14）第４７回神奈川県剣道錬成大会
（15）令和７年度全国高等学校定時制・通信制大会第 56 回剣道大会
（16）第７２回全国高等学校総合体育大会剣道競技
（17）第５０回関東中学校剣道大会
（18）第７５回日光剣道大会

【審査会結果】レジュメ記載通り
① 剣道審査会合格者
令和７年８月３日（日） 福岡市総合体育館
【剣道六段】１名
令和７年８月１０日（日） 名古屋市枇杷島スポーツセンター
【剣道八段】１名
② 居合審査会合格者
令和７年６月２７日（金） 霞ヶ浦文化体育会館(水郷体育館)
【居合道六段】６名
【居合道七段】２名
③ 杖道審査会合格者
令和７年８月１５日（金） YohaS アリーナ（千葉公園総合体育館）
【杖道六段】４名
５．そ の 他
（２）年度会費、審査、大会、講習会等の振込口座について　資料４参照（中島）
資料４記載通り
振込先がそれぞれ違うため注意のこと。

質疑

・特別委員会報告後「神奈川問題」について質疑応答があった。
・全剣連のリーフレットは公的に配布・掲示していいものか。
　(野見山)全剣連のホームページからプリントアウトもできるため、ぜひお願いしたい。

次回理事会（支部理事・支部長合同会議）は　１０月９日（木）１８時～
於　かながわ県民センター

６．閉　会

以上